

令和3年度 第3回

8月 倫理・利益相反委員会 会議記録概要

日時：令和3年8月27日（金） 15:00～16:15
場所：第1研究棟2F大会議室
出席者： 委員長 豊嶋英明 委員 加知輝彦、八谷寛、服部一郎、岡村幹吉、村上健次、櫻井香、松原徳和、新飯田俊平、伊藤眞奈美
出席委員数/全委員数： 10人/11人
審議事項 申請課題数：新規申請課題 2件
その他審議事項は特になし

申請課題について

No. 1	<p>受付番号：1539</p> <p>課題名：認知症者における感覚刺激への心理・情動反応評価の実施可能性：パイロット研究</p> <p>申請者：近藤 和泉</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>倫理審査結果：条件付き承認（修正内容の確認をもって承認とする。）</p> <p>〈条件〉</p> <ol style="list-style-type: none">1. 説明書では研究対象者が3種類のロボットを全て体験してどれが好ましく感じるかを調べる内容と読み取れますが、研究計画書では研究対象者が全てのロボットを体験するのか判りにくいので、判るように修正してください。2. 申請書>「10.」>「Ⅲ.」、研究計画書>「9.」、説明書>「4.」、「6.」において、拘束時間は全て合わせて約5分との記載があります。各研究対象者が3種類のロボットを全て体験するのであれば、それぞれのアンケートを書く必要があり、全ての作業が約5分で終わることができるのでしょうか。
-------	---

	<p>体験するロボット毎にその後のアンケート記入まで合わせると、それぞれ5分は必要ではないでしょうか。</p> <p>3. 3種類のロボットを体験する順番はランダムなのでしょうか。順番を固定するとロボットの感じ方にバイアスが生じる可能性がありますか。</p> <p>4. 同意書で代諾者に署名してもらう研究対象者について、説明書を理解できないのに、アンケートを理解して回答できているのでしょうか。その場合のアンケート結果について、同意に署名した研究対象者と同様に扱うのでしょうか。</p> <p>利益相反審査結果：非該当で承認</p>
No. 2	<p>受付番号：1534</p> <p>課 題 名：日本語版認知症スティグマの評価尺度の妥当性検証の研究</p> <p>申 請 者：野口 泰司</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その内容を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>倫理審査結果：承認</p> <p>利益相反審査結果：非該当で承認</p>